

平成 23 年 7 月 19 日

## 新システムの稼働開始について

足利銀行（頭取 藤澤 智）では、コンピュータの基幹系システムを「地銀共同センター」の新システムに移行し、平成 23 年 7 月 19 日（火）より稼働を開始いたしました。店頭営業、ATM などすべてのオンラインサービスは通常どおり稼働しております。

本共同システムへの移行作業のため、7 月 15 日（金）17:00 から 7 月 18 日（月）終日にかけて、キャッシュカードのご利用をはじめ、すべてのオンラインサービスを一時休止させていただきました。連休中にもかかわらず、お客さまには大変ご不便をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、格別のご理解とご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

「地銀共同センター」は株式会社 N T T データ（社長 山下 徹）と当行を含む地方銀行 15 行（※）による国内最大規模の基幹系システムの共同利用型センターです。株式会社 N T T データの次世代バンキングアプリケーションを使用しており、当行は 12 番目の稼働行となりました。

足利銀行では、この新システムへの移行により新たなサービス提供分野が拡大し、お客さまの利便性向上とニーズへの迅速な対応が可能となりました。また、東西 2 か所にデータセンターを持ち、災害時等に高い安全性が確保されております。さらに、多くの地銀が共同で開発・運用を行うことによるコストメリットが発揮されることで、経営の効率化をはかることができるようになりました。

当行は、今後この新しいシステムを基盤に一層のサービス向上をはかり、お客さまの幅広いニーズにお応えするとともに、安定性・信頼性の充実につとめてまいります。

※「地銀共同センター」参加銀行 15 行〔稼働済 12 行、稼働予定 3 行〕

（平成 23 年 7 月 19 日現在）

**【稼働済 12 行】**〈稼働開始時期および銀行コード順〉

京都銀行（平成 16 年 1 月）、千葉興業銀行（平成 16 年 10 月）、岩手銀行（平成 17 年 1 月）、池田泉州銀行（平成 17 年 1 月）、荘内銀行（平成 18 年 5 月）、愛知銀行（平成 19 年 1 月）、福井銀行（平成 21 年 1 月）、青森銀行（平成 21 年 5 月）、北越銀行（平成 21 年 5 月）、秋田銀行（平成 22 年 5 月）、四国銀行（平成 23 年 1 月）、足利銀行（平成 23 年 7 月）

**【稼働予定 3 行】**〈銀行コード順〉

鳥取銀行、大分銀行、西日本シティ銀行

以 上